

音楽科 年間指導・観点別評価計画 第3学年

No.1

月	週	時間	配当	ユニット名(教材名)	学習内容(ねらい)	評 価			他学年との系統性	
						①	②	③		
4	3	3	3	<A>曲想を感じ取り、曲の特徴を生かして歌おう ○旅立ちの日に・帰れソレントへ	フレーズや速度の変化を生かして、ふさわしい表現を工夫しよう。 曲の特徴を理解して、他の声部や伴奏と合わせて歌おう。	イ	ア		①曲想と形式や歌詞との関わりについて理解している。音域や強弱に応じた発声、子音や母音の発音などを身に付けている。 ②歌唱表現に関わる知識(曲想と形式や歌詞との関わり)や技能(音域や強弱に応じた発声、子音や母音の発音など)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 ③歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小1・2 ・ぶんぶんぶん ・おもちゃのチャチャチャ ・朝のリズム ・ウンパッパ 小3・4 ・小さな世界 ・ゆかいなまきば ・森の子もり歌 ・ラバースコンチェルト 小5・6 ・花のおくりもの ・こきょうの人々 ・バナハ 中1 ・青空へのぼろう 中2 ・雪の降る街を
5p	2	2	3	<B>言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう ○言葉のリズムや重なり方を活用する旋律づくり	言葉の反復や重ね方を生かして、まとまりのある表現で工夫しよう。 言葉のリズムやまとまりを捉えて、テーマに合う言葉を選ぼう。	イ	ア		①音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。 ②創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する。 ③創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小1・2 ・ことばのリズムで遊ぼう ・音の重なりやリズムを選んで合わせよう ・お祭りの音楽をつくろう ・みんなの音楽時計をつくろう 小3・4 ・チャチャチャのリズムで遊ぼう ・音の動き方を生かして旋律をつくろう ・音階をもとにして音楽をつくろう ・役割をもとにして音楽をつくろう 小5・6 ・和音に合わせて旋律をつくろう ・動機をもとに音楽をつくろう ・役割を決めて音階をもとにした音楽をつくろう 中1 ・日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう 中2 ・平調子の特徴を生かして音楽をつくろう

音楽科 年間指導・観点別評価計画 第3学年

No.2

月	週	時間	配当	ユニット名(教材名)	学習内容(ねらい)	評 価			他学年との系統性	
						①	②	③		
5 6	2 1	2 1	4	<C>オーケストラの豊かな表現を鑑賞しよう ○ブルタバ(モルダウ) ・交響詩フィンランディア	曲想と曲全体の構成との関わりを考えながら鑑賞しよう。 音楽の背景を理解して曲全体の構成を聴き取るう。	イ	ア		①曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ②鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ③鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小1・2 ・こうしんきょく ・おもちゃのへいたい ・しゅっぱつ ・ウィーンの音楽時計 小3・4 ・組曲「アルルの女」から ・ピーターとおおかみ ・ノルウェー舞曲第2番 小5・6 ・組曲「カレリア」から ・ピアノ五重奏曲「ます」 ・ハンガリー舞曲第5番 ・交響曲第5番「運命」 ・ラプソディーインブルー 中1 ・「春」第1楽章 中2 ・「ボレロ」 ・交響曲第5番八短調

音楽科 年間指導・観点別評価計画 第3学年

No.3

月	週	時間	配当	ユニット名(教材名)	学習内容(ねらい)	評 価			他学年との系統性
						①	②	③	
6 7	3 1	3 1	4	<D>曲の形式を生かして歌おう ○花 ・荒城の月	曲想を感じ取り、形式を生かしてふさわしい表現を工夫しよう。 曲想と形式や歌詞との関わりを理解して、強弱や音域に応じた発声で歌おう。	イ ウ	ア	①曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ②歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 ③歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小1 ・うみ、かたつむり、日のまる、ひらいたひらいた 小2 ・かくれんぼ、春がきた、虫のこえ、タヤけこやけ 小3 ・うさぎ、茶つみ、春の小川、ふじ山 小4 ・さくらさくら、とんび、まきばの朝、もみじ 小5 ・こいのぼり、子もり歌、スキーの歌、冬げしき 小6 ・越天楽今様、おぼろ月夜、ふるさと、われは海の子 中1 ・夏の思い出、赤とんぼ 中2 ・浜辺の歌、早春賦、花の街
7 8 9	2 1 4	2 1 6	2 1 6	<G>曲想を味わいながら合わせて歌おう ・校内合唱コンクール発表曲 (学級自由曲) (全校合唱曲) ○時を越えて	全体の響きを味わいながら、曲にふさわしい表現を工夫しよう。 曲想と曲全体の構成との関わりを理解して、他の声部を聴き取りながら歌おう。	イ ウ	ア	①曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。 ②歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 ③歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小3・4 ・ドレミの歌 ・この山光る ・エーデルワイス ・ゆかいに歩けば 小5・6 ・夢色シンフォニー ・君をのせて ・大切なもの ・明日を信じて

音楽科 年間指導・観点別評価計画 第3学年

No.4

月	週	時間	配当	ユニット名(教材名)	学習内容(ねらい)	評 価			他学年との系統性	
						①	②	③		
10	2	2	2	<E>CMソングをつくろう ○短い旋律の反復を活用した音楽づくり	選んだ言葉のつなげ方を工夫してCMソングをつくろう。 言葉のリズムや抑揚を捉えて、テーマに合う言葉を選ぼう。	イ	ア		①音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。 ②創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫している。 ③創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小1・2 ・ねこの鳴き声で遊ぼう ・星の音楽をつくろう ・どんな音がきこえるかな 小3・4 ・いろいろな声で表現して遊ぼう ・音の響きや組み合わせを楽しもう 小5・6 ・いろいろな声で音楽をつくろう ・ずれの音楽を楽しもう ・循環コードをもとにアドリブで遊ぼう 中1 ・全体の構成を考えながら音楽をつくろう 中2 ・リズムパターンをつくろう
10 11	1 3	1 3	1 3	<F>オペラやバレエを味わいながら鑑賞しよう ○オペラ「アイーダ」から ・バレエ「白鳥の湖」	音楽と舞台による表現の関連を考えながら鑑賞しよう。 他の芸術と関係する音楽の役割や効果を聴き取ろう。	イ	ア		①音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 ②鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ③鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小1・2 ・どれみのうた ・おどるねこ ・そりすべり ・マンボナンバーファイブ 小3・4 ・ユモレスク ・白鳥 ・「サウンドオブミュージック」から ・歌劇「魔笛」から 小5・6 ・つるぎのまい ・クラッピングミュージック ・バイオリンとピアノのためのソナタ 中1 ・魔王

音楽科 年間指導・観点別評価計画 第3学年

No.5

月	週	時間	配当	ユニット名(教材名)	学習内容(ねらい)	評 価			他学年との系統性	
						①	②	③		
12	3	3	2	<H>歌舞伎や文楽の豊かな表現を鑑賞しよう ○歌舞伎「勸進帳」 ・文楽「義経千本桜」	舞台芸術での音楽の役割や効果を考えながら鑑賞しよう。 音楽の特徴を舞台の表現と関わらせ。多様な表現を聴き取ろう。	イ	ア		①我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 ②鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ③鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小1・2 ・ながうた「むしの声」 小3・4 ・さくら変奏曲 小5・6 ・長唄「越後獅子」から ・春の海 ・雅楽の演奏／三曲合奏 中1 ・箏曲「六段の調」 中2 ・雅楽「越天楽」 ・能「羽衣」キリから
1	2	2	1	<G>曲想を味わいながら合わせて歌おう ・卒業式式歌	全体の響きを味わいながら、曲にふさわしい表現を工夫しよう。 曲想と曲全体の構成との関わりを理解して、他の声部を聴き取りながら歌おう。	イ	ウ		①曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。 ②歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 ③歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	小5・6 ・花のおくりもの ・バハナ ・ロックマイソウル 中1 ・希望という名の花を ・飛び立とう君の空へ ・あの丘の向こうから 中2 ・大切なもの ・生命が羽ばたくとき